

Graduation Policy (GP) ver.5

記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	理学部
学科・専攻等名	物理・情報科学科
コース等名	物理学コース、情報科学コース
細分名	
理学部・理工学研究科(理系専攻)の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
理学部・理工学研究科(理系専攻)の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
物理・情報科学科の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理学、情報科学の基礎学習を通して他の自然科学や応用科学にも活用できる基礎的素養を身につけた人材を育成する。</li> <li>2. 物理学、情報科学及びこれらと他の学問との境界の学際的分野の学習や思索を通して科学的手法を身につけ、柔軟性に富んだ発想力と思考力を培い、広い視点から社会に活躍できる人材を育成する。</li> </ol>	
物理・情報科学科の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
物理学コースの教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物理学を学習する上での基礎的な数学の能力を身につけさせ、併せて論理的思考能力を養う。</li> <li>2. 力学、電磁気学などの古典物理学の基礎を習得させ、さらに現代物理学の基礎である初等的な統計力学と量子力学を習得させる。</li> <li>3. 基礎数学や基礎物理学の学習を通して、他の自然科学や応用科学にも活用できる基礎的素養を身につけた人材を育成する。</li> </ol>	

4. 実験科目の履修を通して、探求することの過程を経験させ、目標を目指した適切な計画立案、手法選択、結果をまとめる能力などを身につけさせる。

5. 自らの学習や実験結果等を他人にわかりやすく説明し、文章として表現し、他人の提示した結果に対して適確な意見を述べるための能力を育てる。

物理学コースの Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

1. 基礎的な古典物理学や初等的な現代物理学を習得し、大学で物理学を学習したものとしての最低限の素養を身につけている。

2. 基礎物理学の学習を通して、他の自然科学や応用科学にも活用できる基礎的素養を身につけている。

3. 習得した基礎知識をもとに、卒業後進んだそれぞれの分野で自己の能力を発展させ、自ら思考することから新しいものを発想し、創造する、あるいは問題を解決する能力を身につけている。

4. 自分の業務成果等を他人にわかりやすく説明し、文章として表現することができる。さらに、他人の提示した成果等に対して適確な意見を述べるための能力を持っている。

情報科学コースの教育目的 (具体的に記述・箇条書き)

1. 情報科学・数学の基礎を習得することにより基礎学力及び論理的思考力を養う。

2. 修得した知識、手法を従来の専門分野の壁を越えた学際的領域に対して応用できる柔軟な思考力を養う。

3. 自らが調べ考えた結果を他人にわかりやすく表現し、プレゼンテーションや議論を行うための日本語能力を育てる。

情報科学コースの Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

1. 自然科学の学習の根幹となる理論的思考力を身に付けている。

2. 自然科学と情報科学の基盤となる数学的知識を習得している。

3. 情報科学の基礎的な学術体系を習得している。

4. 自然科学分野の様々な現象を数理モデルとして定式化し、情報科学的手法で解析できる応用手法を身につけている。

5. 自分の主張をまとめ、他人にわかりやすく説明し、議論を行うための日本語能力、プレゼンテーション能力およびディスカッション能力をもつ。